



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推



1年で最も実り多い 「勝負の学期」

暑さの中にも、ふとした瞬間に秋の気配が感じられる季節となりました。長かった夏休みが明け、今日からいよいよ、2学期がスタートしました。

教室に皆さんの元気な挨拶と笑顔が戻ってきました。この夏休み、部活動の大会やコンクールに全力を注いだ人、日頃できない体験や学習にじっくり取り組んだ人など、それぞれの時間を過ごしたことと思います。日焼けした引き締まった表情から、皆さんが一回り大きく成長して戻ってきたことが伝わり、大変嬉しく思っています。

2学期は、1年の中で最も長く、学校生活の核となる行事が目白押しの学期です。若鮎祭(文化の部)や新人大会、生徒会役員選挙等々、行事が続きます。3年生は、2回の教育課程到達度確認検査(教達検)も予定されており、中学卒業後の進路選択の“決断のとき”を迎えます。

このように、2学期は、とても重要な学期であり、様々なことに“力”を入れて取り組む学期といえます。行事の成功はもちろんのこと、日々の授業への取り組み、読書やスポーツへの挑戦など、すべての活動が皆さんを大きく成長させる糧となります。

今学期、皆さんに大切にしてほしいことは、次の3つです。



① 「挑戦する」

最初から「自分には無理」と諦めず、新しいことに一歩踏み出してみましょう。失敗を恐れない勇気が、新しい自分を発見する第一歩です。

② 「協力する(支え合う)」

行事や日々の学校生活は、一人では成し遂げられないことばかりです。仲間と意見を交わし、互いの良さを認め合いながら、絆を深めていきましょう。

③ 「継続する」

日々の授業を大切にする、家庭学習をコツコツ続ける、時間を守る。地道な毎日の積み重ねこそが確かな実力と自信につながります。

学校生活のリズムを 整えよう!

何事もスタートダッシュが大切です。生活面、学習面、部活動、各行事等、それぞれの目標を定め、その実現のために、さらなる“力”を発揮していきましょう。

まず、大切なことは、生活のリズムを整えることです。“学校生活のない”夏休み中の生活リズムから、“学校生活のある”2学期の生活リズム、つまり、“朝きちんと起きて、朝食をとり、学校へ行く”という生活のリズムを整えていくことです。

ちょっと意識することで、元の生活リズムに戻すことはできると思いますが、その継続には、保護者の皆様の協力が必要です。どうぞよろしくお願いします。

また、2学期は、問題行動も起きやすい時期です。これも、夏休みの生活が要因の1つになっていると考えられます。今の子供たちは、“我慢する”とか“耐える”といった場面が少なく、保護者も、気になること(心配なこと)があっても、“この位なら、自分(子供)が何とかするだろう”と、見守る(見過ごす)姿勢でいると、いつの間にか、深刻な事態になっている場合もあります。時には親として、毅然とした態度で諭してください。よろしくお願いします。いずれにしても、子供たちの**小さな変化**に留意しましょう。心配なことがありましたら、どうぞ遠慮なく、中学校へご相談ください。